

令和5年度

学 校 要 覧



日原小学校 校歌

一、日は真輝く 日原の

春日の山の 深みどり

仰ぎてたてる わが校舎を

心一つに 守りつつ

希望はろけき 眉あげて

強く正しく のびゆかむ

ああ 日原

われらの小学校

二、高津の流れ とこしえに

ひびきはすがし 日に新

わたるそよ風 光は満つる

代々の誉を うけつぎて

真を探ね 身をきたえ

清く明るく のびゆかむ

ああ 日原

われらの小学校

津和野町立日原小学校

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

主体的に行動する

かしこい子 (学力)

やさしい子

(感じる心・関わる力)

社会性

仲間とともに
わかった!できた!

たくましい子

(耐力・体力)

にこにこ チャレンジ はきはきあいさつ 自分から

めざす児童像の基盤 (土台) にあるもの

3つの玉

がまん玉

あきらめずに
やりぬこう!

負けないで
やってみよう!

(粘り強く取り組む態度)

**成長
しよう**

自分が好き!
(自己肯定感・自己有用感)

日原が好き!
(ふるさとを愛し 誇りに思う)

明るいあいさつ!

(入会きなあいさつができる)

勇気玉

わたしに
まかせて! (挑戦)

自分の気持ちを
伝えよう!

(コミュニケーション能力)

思いやり玉

まわりの人を
大切に!

(互いを認め合い 仲良くする)

仲間を信じよう

(お互いを認め 信頼し合える)

安心・安全 楽しい学校

今は、チャンスの時 ~コミュニティスクール始動~

津和野町では、町内全ての小中学校で「コミュニティスクール」が始まっています。

コミュニティスクールとは、簡単に言いますと「学校が保護者・地域の皆さんと目標やビジョンを共有し、保護者・地域と一体となって子ども達を育む『地域とともにある学校づくり』」を行っていくことです。

しまね教育魅力化ビジョンより

基本理念 **ふるさとを学びの原点に 未来にはばたく 心豊かな人づくり**

中学校・高校と
これからの学び

学習指導要領の「社会に開かれた教育課程」と津和野町の「0歳児からの人づくり事業」はまさにつながっていると思います。
～より良い学校教育を通してよりよい社会を創る～

子どもたちの成長

私たち学校は、学校にいる時だけきちんとできる子どもを育てるのではありません。学校でも家庭でも地域でも楽しく・子どもらしく生活できる・学べる子どもを育てたいと考えています。

学校教育の連携した取り組み

「地域の行事」「家庭のごと」にも主体的に参加・取り組む子どもする

同じベクトルで子どもたちとかがわる（支援・援助 等）

地域での学び

- 例えば
- ・公民館活動
 - ・児童クラブ
 - ・あゆっこワクワク広場
 - ・多くの協力隊の方々
 - ・スポーツ少年団活動
 - ・習い事（神楽なども）
 - ・子ども会
 - ・自治会行事 などなど

日常の地域の方とのふれあいも大切な学びの場です。
民生委員さんの見守り・情報共有も大切です。

学校での学び

教育課程

- 左に掲載の方々
- 見守り隊
 - 読み語り
 - クラブ講師
 - 授業講師
 - などなど

- 保小連携
- 小中連携
- 保護者連携
- 地域連携
- などなど

家庭での学び

- 例えば
- ・生活習慣
 - ・家庭の約束（学習・メディアなど）
 - ・お手伝い（自分の仕事）
 - ・家族とのふれあい
 - ・家族との会話
 - ・家庭での地域行事など様々な取組やイベントへの参加

毎日の生活そのものが大切な学びの場です

しっかりと「つながり・かかわる」（情報の共有）

学校教育目標や学校経営ビジョンの共有（対話を大切にして）

実態や願いを反映させることが大切だと考えます

学 校 の 沿 革

1873	(明治 6)	年	民舎仮用の寺子屋教育が始まる。
80	(" 13)	年	劇場を改造して校舎とする。この頃、公立日原小学校となる。
89	(" 22)	年	校名を日原尋常小学校及び日原簡易小学校と称する。
90	(" 23)	年	火災により全校舎及び記録一切を消失する。
92	(" 25)	年	校舎を新築する。
93	(" 26)	年	校名を日原尋常高等小学校と改称する。
1917	(大正 6)	年	前校舎を新築する。
27	(昭和 2)	年	後校舎を増築する。
38	(" 13)	年	講堂を新築する。
41	(" 16)	年	日原村日原国民学校と改称する。
45	(" 20)	年	太平洋戦争終結する。児童数655名(但し、高等科を除く)
47	(" 22)	年	日原町立日原小学校と改称する。
50	(" 25)	年	児童数718名。
51	(" 31)	年	完全給食開始
57	(" 32)	年	児童数760名(最高児童数 33年より児童数の減少著しくなる)
65	(" 40)	年	児童数458名。
67	(" 42)	年	鉄筋三階建て校舎竣工する。
73	(" 48)	年	開校100周年記念式典を挙げる。(児童数328名)
76	(" 51)	年	商人小学校を統合する。(児童数295名)
78	(" 53)	年	柳小学校廃校に伴い、湊村地区を校区に編入する。
81	(" 56)	年	へき地教育開発事業発表大会を開催する。
82	(" 57)	年	プール(5コース、附属棟)竣工する。国民体育大会(くにびき国体)開始式において本校鼓笛隊(5・6年)演技行う。
83	(" 58)	年	第24回島根県教育研究大会で授業(算数・理科)公開する。 島根県福祉教育研究指定校(昭和60年度まで)となる
86	(" 61)	年	文部省指定体力づくり推進校発表大会(昭和59年指定)開催する。
89	(平成 1)	年	児童数231名。
90	(" 2)	年	第13回島根県特別活動研究大会(鹿足大会)開催する。
92	(" 4)	年	校舎及び共同調理場大規模改造(内部)
93	(" 5)	年	校舎大規模改造(外部)(児童数232名)
94	(" 6)	年	文部省奉仕活動等体験学習研究推進校発表大会(平成5年指定)開催する。
95	(" 7)	年	文部省同和教育推進地域指定(平成8年度まで)
99	(" 11)	年	島根県地域ふれあい学習推進事業指定校(3年次)(児童数166名)
2000	(" 12)	年	島根県書写教育研究大会開催する。
03	(" 15)	年	新図書室完成。放課後児童クラブ「日原ひまわりクラブ」創設される。
06	(" 18)	年	新屋内運動場竣工する。(児童数125名) 町村合併により津和野町立日原小学校と改称する。 学校安全に関する研究校委嘱(平成17・18)され、東京で発表する。
08	(" 20)	年	第49回島根県教育研究大会で授業(生活、体育)公開する。
10	(" 22)	年	校舎耐震化工事、中庭・池修繕工事を行う。
11	(" 23)	年	須川小学校と統合に伴い、須川地区を校区に編入する。
13	(" 25)	年	第28回中国地区学校図書館研究大会(浜田大会)にて発表する。
16	(" 28)	年	左鐙小学校と統合に伴い、左鐙地区を校区に編入する。
18	(" 30)	年	肢体不自由特別支援学級開設に伴う校舎改修工事 教室、特別教室空調設備設置
19	(" 31)	年	校庭ブロック塀撤去、フェンス設置
21	(令和 3)	年	校舎北側に駐車場(6台分)を増設
23	(令和 5)	年	体育館太陽光パネル撤去・屋根の改修

校 区 の 概 況

本校は、津和野町の北に位置し、付近には官公署、商店、人家が密集している。しかし、周辺地域では、近年過疎化現象が激しく、児童数も年々減少している。ほぼ、南北に流れる高津川に沿ってJR山口線と国道9号線が山口市と益田市に、また、吉賀川に沿った国道187号線が岩国、中国自動車道に通じ陰陽分岐点となっている。

江戸時代、この辺りは津和野藩亀井氏の所領であったが、日原村(校区の中心地)だけは幕府直轄の天領で、日原銅山が開かれ明治まで続いた。この間、津和野藩領の中であって、天領としての独自の生活と文化が生じ天領気質といった独特な気風も生まれた。しかし、明治、大正、昭和、時代変遷の中で民風も一新し、進取、開放的となった。また、旧日原町時代から先達による産業振興、工場誘致、生活道の整備等過疎の風波の中で地道な発展を遂げた。近年は、地場産業の振興、天文台、町民体育館、民俗資料館、カントリーパーク、道の駅等も設置し、ふるさと創生の意欲が高い。学校教育についても関心が極めて高く、保護者・地域ともに支援を惜しまない。

1 学校教育目標

未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

2 めざす児童像

<p style="text-align: center;">かしこい子（学力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・しっかり聞き、しっかり考え、伝え合い、高め合う子 ・進んで本を読む子 ・「探究」していく子 ・点から線へ：学びの連続・発展 	<p style="text-align: center;">やさしい子（感じる心・関わる力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰にでも気持ちの良いあいさつや言葉かけのできる子 ・自他の良さや頑張りを認め合い応援し合う子 ・感謝の気持ちを持つ子 	<p style="text-align: center;">たくましい子（耐力、体力）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のめあてに向かってあきらめず取り組む子 ・進んで体を動かし鍛える子 ・よりよい生活リズムをめざす子（よく食べる子）
<p>（社会性） ・場の状況や相手の気持ちを考えることができる子 ・コミュニケーション力を身につけている子</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">仲間とともに「わかった・できた・考えた」</p>

3 めざす学校像

温かさと活力に包まれ「よりよく伸びていく」学校

<p>○子どもにとって楽しい学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの学びを支える学校 ・温かい人間関係を育てる学校 ・学習が実現される学校 	<p>○保護者、地域に信頼される学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全 楽しい学校 ・きれいな学校 ・様子がよくわかり、相談しやすい学校 	<p>○職員が生き生きと働く学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・笑顔があふれる明るい学校 ・チームで協働する学校 ・チームで高め合う学校 ・働きやすい学校
---	--	--

※学習（がくしゅう）：学ぶ楽しさを感じられる学習（必要感・達成感・主体的）

4 めざす教職員像

- ☆「人」としてのモデルとなる教職員 【人権感覚と豊かな感性】☆
- 子どもを愛しむ教職員 【温かさと厳しさ】
 - 広い心と広い視野をもつ教職員 【ゆとりが持てる】 【柔軟性】
 - プロとしての誇りと使命感をもつ教職員 【学び続ける】 【実態に即した指導と支援】
 - 保護者や地域とのつながりを大切にする教職員
 - 隠れたカリキュラムを実現できる職員集団 【児童は職員の中を見て育つ…支え合う姿】

5 学校経営の基本方針 ～人権・同和教育、特別支援教育の理念を学校経営の基盤とする～

- (1) 学校教育目標をすべての教育活動の中で具現化し、その実現をめざす。
【子どもサイドの言葉での目標明示（主体的に行動する）（3つの玉）】 【自己有用感を高める】
- (2) 児童の実態に基づいた教育課程を編成して取り組む。（柔軟なカリキュラム・探究）
【今の子ども姿+1の目標設定、目標の共有】 【PDCA】
- (3) 児童の仲間意識を高め、相互の関わりの中で伸びていく教育活動を創造する。【積極的生徒指導】
【居場所である学級・所属感を高める】 【良さや頑張りの伝え合い】 【授業の中での学び合い・高め合う】
- (4) 全教職員が使命感と情熱をもって学校運営に参画し、チームで取り組む。
【共有、共感、協働】 【チーム日原小（職員・教育委員会・SC、SSW、魅力化コーディネーター、保護者、地域の方々等）による学校運営】
- (5) 家庭や地域の実態をふまえ、家庭や地域の方々と連携した教育活動を推進する。情報受信、情報発信 【説明責任】

6 今年度の重点

	具体目標	取組方法
かしこい子	○課題の意味を理解し、主体的に考え、話し合いながら考えを深め、伝え合う力を伸ばす	<ul style="list-style-type: none"> ・身につけさせたい力を明確にした授業（町教研の実践を生かす） 【教科の用語や学年のつながりを意識した学習過程の工夫】 ・児童の考えを問わせる支援の工夫（対話的な活動の場） ・教師や子ども達同士の言葉かけ（学びに向かう力を高める） ・課題発見を大切にした教材の工夫（探究につながる学習展開） ・生活科や総合的な学習の時間の充実（魅力化コーディネーターとの連携） ・架け橋プログラム（保・小接続）
	○「探究」していく子にしていこう。（点から線へ：学びの連続・発展）	
	○学年相応の基礎学力の維持・向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・パワーアップタイム ・漢字・マス計算大会 ・個人差に対する個別指導 ・家庭学習のてびき（自学の推奨） ・タブレットの有効活用（持ち帰り：家庭と学校の学びの連続性）
やさしい子	○いつでもどこでも誰にでも気持ちの良い挨拶や返事、言葉遣いができるようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童会活動と学級活動の連携した取組（子どもから） ・見守り隊など地域の方と連携したあいさつ運動（大人から）
	○友達の頑張りが良さを認め合い、応援し合う気持ちや態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・学級や全校での活動後、めあてに沿った振り返りの場を設定 ・児童から出た言葉への価値づけ（言葉かけ） ・よりよい友達関係づくりについて考える場を道徳等で設定 ・特別支援教育に関する情報提供や理解教育（1学期に実施）
	○地域の良さを見つけ、学んだことや感じたことを表すことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の自然やもの、人など地域の良さに触れる体験活動 ・学んだことを振り返り、手紙や新聞に表したり、表現したりする活動の設定 ・地域コーディネーターとの連携・協働（0歳児からの人づくり事業の推進）
たくましい子	○「自分のめあて」や「やるべきこと」にあきらめずに取り組む強い心を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢を整えることで心も整える ・めあてを意識させるとともに振り返りをきちんとする ・意識的に、認めたりほめたりすること（言葉かけ）で児童のやる気を高める
	○自分から進んでめあてをもって運動に取り組む意欲と態度を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・業間体育（マラソン、日小ピクス、なわとび） ・外遊びの推進、全校遊び ・集会活動（ロードレース大会、なわとび集会）
	○体と心によい生活リズムに目を向け、自分の課題に向かって取り組もうとする力を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な生活リズムチェック（「早ね早起き朝ごはん」の推進） ・健康、食に関する指導（よく食べる子）、情報提供 ・学校保健委員会 ・コロナ対策（With コロナ）
社会性	○規範意識を高くもち、自分たちの学校をよりよくしようと主体的に考えたり行動したりする。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の主体的な取組を促す（児童会活動の活性化） ・道徳科と特別活動等を関連付けた取組 ・学級会活動を中心とした学級集団づくり ・めあてと振り返りの充実

3つの玉（がまん玉・勇気玉・思いやり玉）を大きくしよう【土台】

学 級 編 制

令和5年5月1日現在

学 級		児 童 数	学 級 数
学 年	性 別		
1	男	7	1
	女	4	
	計	11	
2	男	4	1
	女	5	
	計	9	
3	男	15	1
	女	4	
	計	19	
4	男	4	1
	女	5	
	計	9	
5	男	(1) 6	1
	女	7	
	計	(14) 13	
6	男	(2) 5	1
	女	7	
	計	(14) 12	
あおぞら	男	1	1
ひだまり	男	1	1
くすのき	男	1	1
合 計	男	44	9
	女	32	
	計	76	

<学級目標>

学年	学 級 目 標	
1	<p>わくわく はてな ~さいごまで~ちゃれんじ~みんなで~</p>	
2	<p>まんまる ~人とつながり、学びをつなげる~</p>	
3	<p>サン☆フラワー ひとりひとり みんな すてき♥ みんなで パワーアップ</p>	
4	<p>できる できた</p>	
5	<p>『WA・和・輪』</p>	
6	<p>Challenger</p>	
あおぞら	<p>のびのび 元気! ~やってみよう! かかわろう! つづけよう!~</p>	<p>ちょうせんして、パワーアップ! ~たくさん みを つけよう!~</p>
ひだまり		<p>~たくさん みを つけよう~ スキルアップ</p>
くすのき		<p>~Let's Chargeup!~</p>

〈授業時数〉

	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年
国語	306	315	245	245	175	175
社会			70	90	100	105
算数	136	175	175	175	175	175
理科			90	105	105	105
生活	102	105				
音楽	68	70	60	60	50	50
図画工作	68	70	60	60	50	50
家庭					60	55
体育	102	105	105	105	90	90
道徳	34	35	35	35	35	35
学級活動	34	35	35	35	35	35
総合			70	70	70	70
外国語(活動)			35	35	70	70
総時数	850	910	980	1015	1015	1015

週時数 (右側が実際の週時数)

	1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
国語	9	9	9	9	7	7	7	7	5	5	5	5
社会					2	2	2.6	3	2.9	3	3	3
算数	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
理科					2.6	2.5	3	3	3	3	3	3
生活	3	3	3	3								
音楽	2	2	2	2	1.7	1.5	1.7	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5
図画工作	2	2	2	2	1.7	2	1.7	1.5	1.4	1.5	1.4	1.5
家庭									1.7	1.5	1.6	1.5
体育	3	3	3	3	3	3	3	3	2.6	2.5	2.6	2.5
道徳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
学級活動	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
総合					2	2	2	2	2	2	2	2
外国語活動・英語					1	1	1	1	2	2	2	2
総時数	25		26		28		29		29		29	

☆ 0.5 のところは、0.5 同士で同一の時間に置き、隔週で実施する。

☆ 今年度は、A週、B週を設定し、0.5 実施の週を明確にする。

☆ 予定時数と開きが出たところは、学期末・学年末で調整する。

学年	4	5	6	7	8・9	10	11	12	1	2	3
学校行事	着任式・始業式 入学式準備/入学式 身体測定 (視力・聴力検査) 交通安全教室(1,2年) (耳鼻科検診)	町小体育大会(5・6年) 交通安全教室(3~6年) (内科検診)(歯科検診・ブラッシング指導)	修学旅行 プール掃除 (眼科検診)	大掃除 終業式	始業式 運動会予行演習 運動会準備 運動会	(歯科検診(秋季))	学習発表会	大掃除 終業式 身体測定	始業式		卒業式予行演習 卒業式準備 卒業式 大掃除 修了式・離任式
児童会	委員会活動スタート 校外子ども会 縦割り班編成 1年生を迎える会	委員会 児童総会	委員会 人権の花運動(生活委員会)	(校外子ども会) 委員会	委員会	委員会	委員会	(校外子ども会) 委員会	代表委員会 委員会	児童総会 6年生を送る会 委員会	校外子ども会 委員会(次年度メンバー決定)
縦割り活動											
クラブ活動											
校外学習・ふるさと(2022年度実施分)	(1年) (2年) (3年) (4年) (5年) (6年)	さつまいも植え体験(臨本)	町たんけん くすのき(PTC) 雄滝・雄滝(CN、枕瀬公民館) 高津川の生き物や石について(CN)	サンサンサービス交流(CN) 森と鮎(みーも) 森林学習:間伐村の利用(農林課)	生きものさがし 津和野メロンパーク・秀翠園見学(CN) 高津川探検(みーも) 下水道出前授業 稲刈り(臨本)	秋みつけ(みーも) 秋さがし(みーも) 図書館見学町探検 わさび栽培見学(みーも)	さつまいも収穫・焼芋(臨本) さつまいも収穫(臨本) 天文台(CN、枕瀬公民館) 日原の文化や歴史について(CN)	さつまいも収穫(臨本) さつまいも収穫(臨本) さつまいも収穫(臨本) さつまいも収穫(臨本)	昔の遊び交流学習(GN) 分遣所、駐在所見学	新1年生交流(教頭) 日原歴史民俗資料館見学	CM撮影(サンネットにちはら)広報紙原稿提出(保育園との交流(6, 8, 9)) 子ども議会 まちの未来を考えるワークショップ②(つわの暮らし推進課)中1と
交流学習	(特支)いちご狩り(美都)	2校交流学習 1・2・5・6年(青原→日原) 3・4年(日原→青原)	6年修学旅行(15, 16日) さつまいも苗植え(シルババー人材センター)	森林学習:間伐村の活用(農林課) 租税教室	津和野町散策(源氏巻き体験) 秋季合同学習(津町)29日	6年交流学習(平和学習)5日 小中交流会(6年)	2校交流学習 1・2・3・4・6年(青原→日原) 5年(日原→青原)	町特支学校合同学習『作って動かそう会』(津町特支教育研究会) 島根県学力調査1~4年学力調査(国・算) 個人懇談	2校交流学習 5年(青原→日原) 嶋外記念館 6年(青原→日原)	卒業進級を祝う会 式歌練習	「おゆみ」「いぶき」発行
継育成会		春季交流会(津町)26日	陸上練習 体カテスト② プール開き	個人懇談	夏休み作品展 運動会	ロードレース記録会 いい本見つけようの会	学習発表会	町特支学校合同学習『作って動かそう会』(津町特支教育研究会) 島根県学力調査1~4年学力調査(国・算) 個人懇談	卒業進級を祝う会 式歌練習	参観日 (日中入学説明会) 第5回常任委員会 学級PTA 家読	個人懇談(希望者のみ) 第1回常任委員会 かすが発行
教科その他	陸上練習 全国学力調査	陸上練習	体カテスト② プール開き	個人懇談	夏休み作品展 運動会	ロードレース記録会 いい本見つけようの会	学習発表会	町特支学校合同学習『作って動かそう会』(津町特支教育研究会) 島根県学力調査1~4年学力調査(国・算) 個人懇談	卒業進級を祝う会 式歌練習	参観日 (日中入学説明会) 第5回常任委員会 学級PTA 家読	個人懇談(希望者のみ) 第1回常任委員会 かすが発行
参観日	参観日 見守り隊顔合わせ会	参観日(救命救急講習)	参観日(救命救急講習)	個人懇談	夏休み作品展 運動会	ロードレース記録会 いい本見つけようの会	学習発表会	町特支学校合同学習『作って動かそう会』(津町特支教育研究会) 島根県学力調査1~4年学力調査(国・算) 個人懇談	卒業進級を祝う会 式歌練習	参観日 (日中入学説明会) 第5回常任委員会 学級PTA 家読	個人懇談(希望者のみ) 第1回常任委員会 かすが発行
PTA関係その他	郡P評議員会 町P連絡会 PTA総会・学級PTA	保小連絡会 かすが発行 PTC活動(1,2,3,4年) 家読	保小連絡会 かすが発行 PTC活動(1,2,3,4年) 家読	第3回常任委員会 家読	親子奉仕作業 PTC活動(6年) 家読	就学時検診 PTC活動(5年) 家読	家読	第4回常任委員会	第5回常任委員会 学級PTA 家読	第5回常任委員会 学級PTA 家読	第1回常任委員会 かすが発行

生活時程

活動内容	月	火	水	木	金
朝の学習	8:10～ 8:25				
学級朝礼	8:25～ 8:40				
1 校 時	8:40～ 9:25				
2 校 時	9:35～10:20				
中間休み	10:20～10:35				
3 校 時	10:40～11:25				
4 校 時	11:35～12:20				
給 食	12:20～13:05				
昼 休 み	13:05～13:30				
掃 除	13:35～13:50				
5 校 時	14:00～14:45				
学級終礼	14:45～15:00				
6 校 時	15:00～15:45				
下 校	16:30				
週 予 定	職員会	委員会活動 クラブ活動	ロング 昼休み	全校朝会 児童朝会 読み語り	

※水曜日は
ロング昼休み
13:05～13:50

※月曜日は13:40～14:25

※月曜日は14:40

<研究構想図> 2年次

《学校教育目標》
未来に向かって主体的に学び行動する児童の育成

【研究主題】
主体的に学びに向かい、表現できる児童の育成
～国語科の授業を通して～

【めざす児童像】

- ・自分の意見や考えを進んで伝えようとする子
- ・語彙力を高め、自分の考えを筋道をたてて伝えようとする子
- ・友達の考えと自分の考えを比べながら、考えを深めようとする子
- ・学んだことを学習や生活にいかしていく子

【研究の視点】

- 視点① 語彙力を増やすための指導の工夫
- 視点② 文章の構成を意識した書く活動の工夫
- 視点③ 発信したい情報を様々な手段で表現する場の設定

【支えとなる日常の取り組み】

基礎基本の力をつける取り組み	学習集団づくり	言語環境の整備
<ul style="list-style-type: none">・日々の音読・読解プリント・家庭学習（日記、条件付き作文）・国語、漢字辞典	<ul style="list-style-type: none">・一人一人が大切にされている集団作り・学習規律の徹底・学び合い学習（ペア、グループ）・姿勢の保持（腰骨ピン体操）	<ul style="list-style-type: none">・国語重要用語の掲示・朝礼や終礼でのスピーチタイム・いろいろな場での発表・発信・読書の推奨

【評価】

- 児童の表現活動からの評価（ノート・発言・作成物等）
- 学力調査結果
- 学校評価の成果指標

職員

氏名	職名	担当	担当地区	委員会
松本 徹	校長			
名目良 明利	教頭	総務		
大場 由紀子	教諭	1年	枕瀬東、枕瀬西、木ノ口	広報
山崎 明子	教諭	2年	野口、脇本、野地	生活・健康
名田 恵子	教諭	3年	曾庭、商人、程彼、堤田	図書
青木 大空	講師	4年	枕瀬東、枕瀬西、木ノ口	図書
川越 弘喜	教諭	5年	左鏡	生活・健康
佐々木 しのぶ	教諭	6年	山根町、清水町	運営委員
福原 康子	教諭	あおぞら	栄町、旭町、扇町、春日町、幸町、金見町	図書
右田 裕子	講師	ひだまり	曾庭、商人、程彼、堤田	給食
竹田 宏美	教諭	くすのき	小直、瀧元、須川	広報
桑原 陽子	養護教諭	保健	左鏡	生活・健康
田原 きらら	栄養教諭	給食		給食
橋口 裕恵	主事	事務		
葉末 紘子	非常勤講師			
松元 文子	にこにこサポートティーチャー			
藤井 寛巳	学習支援員			
草田 比呂子	学習支援員			
松本 祐子	学習支援員			
木村 奈穂	学校図書館司書			図書
山田 明美	学校校務員			
キャロライン スペンス	ALT			
井上 史子	調理員			
藤田 佳世	調理員			
廣石 早紀	調理員			
齋藤 小百合	調理員			
古山 由紀子	調理員			
大庭 由奈	調理員			

校舎配置図

